野外炊事を実施するにあたって

手順

1．食器庫の鍵を借りる（事務室）

① 鍵の貸出と合わせて、「準備」から「片付け」の流れを説明します。
② なたを使った「まき割り体験」を実施する場合は、事務室にて
なたの貸出を行っています。（別紙活動資料があります。）

2．食材受け取り口へ移動（利用者玄関の下）

写真①の階段を下りて写真②の場所に移動します。

自然の家で貸し出しできる物	利用団体が準備する物
野外炊事用具一式 もちつき用具一式 ドラム缶（ピザ釜）等 ※８人分１セットにする際には、設置しているかごをお使いください。	マッチ、スポンジ、たわし 洗剤、クレンザー、布巾、雑巾 新聞紙、うちわ等、 ※食材等は食堂に注文してください。

3．食堂へ連絡

写真〇にある内線電話を使って食堂に連絡します。（内線：２７番）
その後、食堂の従業員が食材等を受け渡しに来ます。

4．食材、薪、ごみ袋、生ごみ用ポリバケツの受取り

・食材：（例）カレーライス１セット（８人分）

・ごみ袋、生ごみ用ポリバケツ

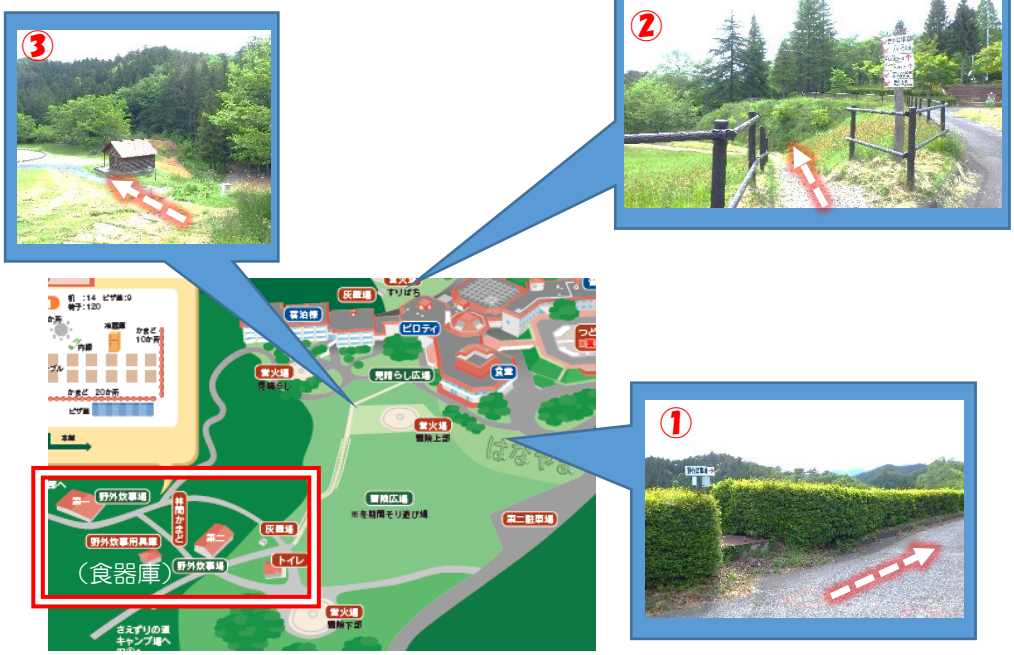
ポリバケツにはごみ袋をセットして
お使いください。

・食材を確認し、野外炊事場に移動します。

注意!!
食材から目を離すと、カラスにいたずらされることがありますので、ご注意ください。

5．野外炊事場への移動

写真①から③を通って野外炊事場に移動します。
斜面が少し急なので降りるときは足元に注意してください。



6．食器庫から必要な用具（鍋、釜、皿、包丁など）を取り出す。

①事務室で受け取った食器庫の鍵を使って扉を開けます。

②調理するメニューに合わせて調理器具を取りだし、青いカゴに入れて運びます。

※他の団体も使用しますので、１班１個で使用してください。

重要

手を洗い、包丁、まな板、食器類を水洗いしてから調理を始めてください。

※１

手洗いは食器庫にある石鹸をお使いください。

※2

包丁、まな板には消毒用アルコールを吹き付けてからお使いください。

③鉄板、鍋、釜はそのまま運びます。

※食事をするテーブルに鍋を置く場合には、木製の鍋敷きを敷いてください。

7．調理（かまどの使い方）

（1）第一野外炊事場（かまど４０か所、水道３２か所、机１６個、椅子１６０脚、ピザ釜９個）

- 釜、鍋がそのまま置ける形状になっています。
- 鉄板（小）を使用してください。

（2）第二野外炊事場（かまど３０か所、水道２２か所、机１４個、椅子１２０脚、ピザ釜９個）

- 耐火煉瓦を組んだ形状になっています。
- グレーチング（鉄製）を下げ、その上で火を起こします。
- 耐火煉瓦は移動することができます。

- 鉄板を使用する場合は、耐火煉瓦を１段下げて、鉄板に火が届くようにします。
- 鉄板（大）を使用してください。
- 使用後は耐火煉瓦が冷えてから、元通りに直してください。

（3）使用上の注意点

①耐火煉瓦は熱くなっていますので、**火傷**に注意してください。

②**包丁**や**なた**を使用する場合は、自分だけでなく**周りの人にも注意**し、事故が起きないようにしてください。

③耐火煉瓦が**破裂する場合**がありますので、かまどに**水**はかけないでください。

④薪は燃やし尽して**灰**になってから片付けるようにしてください。

⑤アルコール（消毒）スプレーや虫よけスプレーは火気の周辺で使用しないでください。

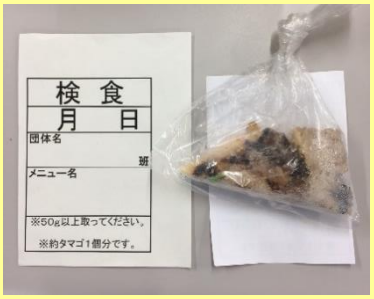
8．検食のご協力

●検食：衛生検査用に保存するため。
①食事の前に検食用の料理（タマゴ一個程度）を袋に入れ、炊事場にある冷蔵庫で一時保管してください。

第一野外炊事場

第二野外炊事場

検食（例）



②袋は食材と一緒に配付します。
③野外炊事終了後、指定の場所までお持ちください。
- 日中の場合　→　食材受け取り口から入って左側の冷凍庫の中へ入れます。
- 夕方の場合　→　事務室へ提出します。

9．後片付け

（1）調理器具の洗浄と返却

「来た時よりも美しく」

次に使う人が気持ちよく使えるように使用した調理器具は全て洗ってください。

①調理器具、食器類はぬめりが無いように洗います。

②鍋、釜、鉄板は内側の洗浄と外側の「すす」も洗浄します。

○

×

③かまどは消火を確認し、火ばさみ、ほうき、ちりとり、十能（小型のスコップ）で清掃します。

かまどのまきは燃やし尽くして灰にしてください。灰は消火を確認し、灰捨場に捨ててください。

④炊事場の清掃

台の上をきれいにし、
椅子をあげておく。

整理整頓

※台や椅子は元の場所に戻してください。
※残った薪は、［　　］の場所に置いてください。こちらで処分します。

⑤水場の脇にある残菜受けを清掃します。

清掃の注意
●残菜をそのままにすると、動物が近づくおそれがあるので、必ず清掃をしてください。

場所：第一、第二とも水場の脇にあります。カバーが重いので取り扱いには注意してください！

第一野外炊事場

第二野外炊事場

水場の中央にもあります。

（２）ごみの分別

野外炊事のごみ置き場は食材受け渡し口付近にあります。事前にご確認ください

〇生ごみ

・生ごみはよく水を切り、ごみ袋で覆ったポリバケツに入れ、生ごみ専用置場に置いてください。
（ポリバケツとごみ袋は食材とともに配布されます。）

〇弁当と野外炊事のごみ

・燃えるごみは、生ごみとは別の袋に入れて捨ててください。

〇ビン・缶・ペットボトル

・それぞれ分別して捨ててください。

・ペットボトルについては、ラベルとキャップを外して捨ててください。

↑　ごみ置き場はこちらにあります。

他者と共有する物品やスイッチなど手が触れる箇所の消毒をお願いします。

10. 点検と返却

使用した調理器具、食器類は、職員から点検を受けた後返却します。
その際、団体代表者（もしくは担当者）は必ず立会いをお願いします。
点検依頼は炊事場にある内線電話から、事務室（内線５２～５４番）までご連絡ください。

※包丁とまな板には消毒用アルコールを吹き付けてから戻してください。
※夕食の野外炊事は、翌朝の点検になる場合があります。
　その際、清掃、片付け、火の始末、生ごみの処理を完了させ、事務室へ報告して下さい。

11. 検食の提出と鍵の返却

点検終了後、食器庫を施錠し、検食と鍵を指定の場所に持っていきます。

- 検食　→　項目６をご覧ください
- 鍵　→　事務室に返却をお願いします。